

御中

仕 様 書

大口径石英光ファイバケーブル
架空型2心コード集合タイプ
G 185/250-D22-SSF

新光技研株式会社

光ファイバ仕様書	SG-20-F012-1
型式名称：G 185/250-D22-SSF【架空型】	2/5

1. 適用範囲

本仕様書は、架空型光ファイバケーブルG 185/250-D22-SSF について規定する。

2. 関連規格

- ① JIS C 3005 「ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法」
- ② JIS C 6820 「光ファイバ通則」
- ③ JIS C 6822 「光ファイバ構造パラメータ試験方法一寸法特性」
- ④ JIS C 6823 「光ファイバ損失試験方法」
- ⑤ JIS C 6824 「マルチモード光ファイバ帯域試験方法」
- ⑥ JIS C 6830 「光ファイバコート」
- ⑦ JIS C 6831 「光ファイバ心線」

3. 適用光コネクタ

- ◎ S01-L2・2心光コネクタキット

4. ケーブル別布設環境

ケーブル名 適用区分	D22 (屋外補強型)	
屋内環境	屋内・管内	◎
	盤内	◇
	ラック/ダクト	◎
	ピット	◎
屋外環境	地下管路	□
	架空	△
	ラック	◎
	トラフ	□
	直埋	×
	水没環境	×

◎:適用可

○:引っ張通線をさけ、送り通線で行ってください。外力がかからない様保護すること

□:水没しない場所であること

◇:許容曲げ半径内で、収納スペースがあること

△:別途支持線を張り、それにケーブルを無理なく固定できること

×:適用不可

光ファイバ仕様書	SG-20-F012-1
型式名称 : G 185/250-D22-SSF【架空型】	3/5

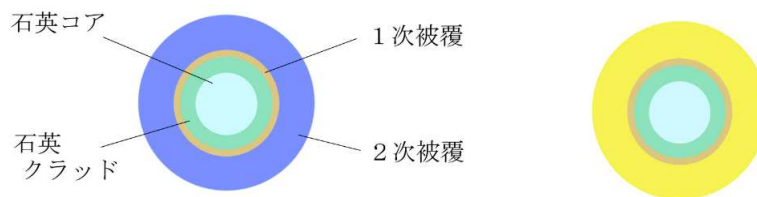
5. 構造

5-1 光ファイバ心線

光ファイバ心線の構造を表1に示す。

表1. 光ファイバ心線の構造

項目	仕様
ファイバ材質	石英系ガラス
コア径	185 ± 5 μm
クラッド径	230 ± 5 μm
一次被覆	UV硬化型樹脂 φ 250 ± 5 μm
開口数 (NA)	0.28 ± 0.02
コア / クラッド偏心率	3 % 以下
コア非円率	3 % 以下
二次被覆	UV硬化型樹脂 φ 0.5 ± 0.05 mm

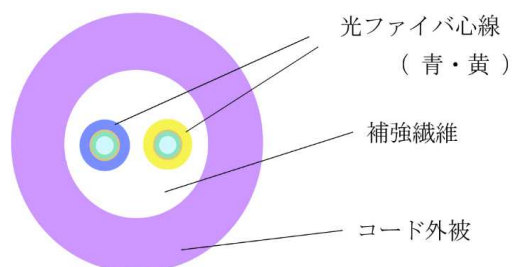


5-2 光ファイバコード

光ファイバコードの構造を表2に示す。

表2. 光ファイバコードの構造

項目	仕様
補強繊維	ポリアラミド繊維を縦添えする
ファイバ心線数	2本 (青, 黄)
コード外被	PVC (紫色) φ 2.8 ± 0.3 mm
概算質量	7 kg / km



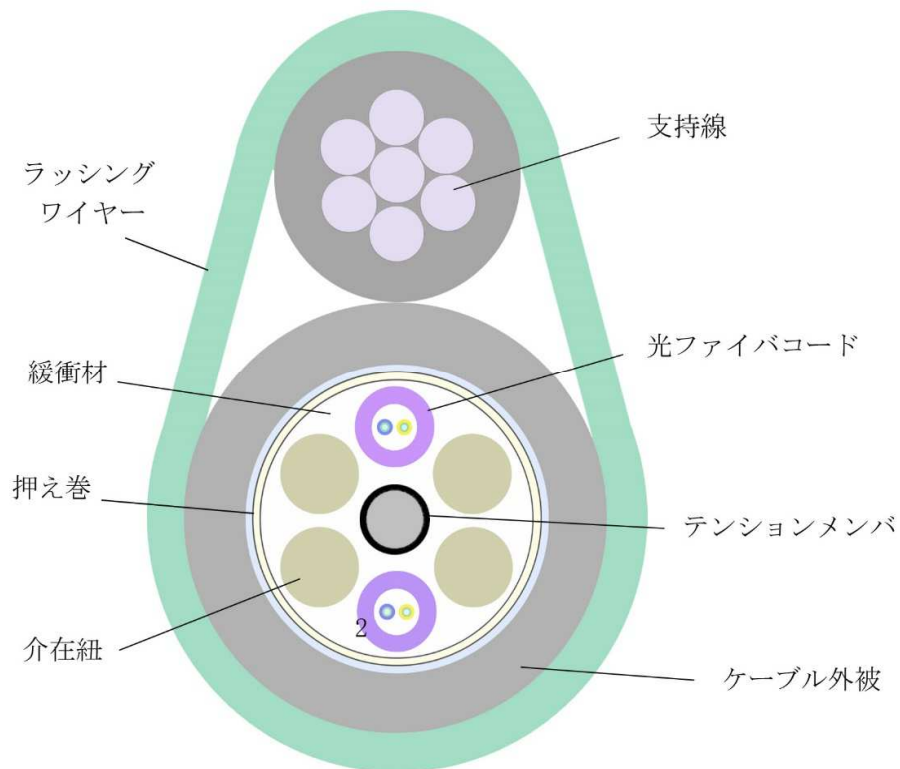
光ファイバ仕様書	SG-20-F012-1
型式名称 : G 185/250-D22-SSF【架空型】	4/5

5-3 光ファイバケーブル

光ファイバケーブルの構造を表3に示す。

表 3. 光ファイバケーブルの構造

項目	仕様
識別	(光ファイバコードのナンバリングは無し。)
コード本数	2本 (ファイバ心線数:4)
緩衝材	プラスチック紐
テンションメンバ	被覆付防錆処理鋼 鋼線径 $\phi 2.3\text{ mm}$
集合	テンションメンバの周囲に光ファイバコードおよび介在紐を集合し、必要に応じ緩衝材を挿入する。
介在紐	PE紐
押え巻	適切なテープを重ね巻きする。
支持線	7本/2.0mm(標準径)の被覆付防錆処理鋼撚線
ラッシングワイヤー	被覆付軟鉄線
ケーブル外被	黒色 PE LAP 14 mm \pm 10% (ケーブル高さ:約24mm)
概算質量	365 kg / km



G 185/250-D22

図中の数字はコードのナンバリングを示す

光ファイバ仕様書	SG-20-F012-1
型式名称：G 185/250-D22-SSF【架空型】	5/5

6. 特性

本ケーブルの特性を表4に示す

表4. 特性

項目	仕様	備考
伝送損失 (*1)	5.5 dB / km 以下	(*1) $\lambda = 0.85 \mu\text{m}$
伝送帯域 (*1)	100 MHz・km 以上	(*2) 0℃以下では屈曲、捻回等の外力が加わらないものとする
許容張力	コード	150 N 以下
	ケーブル	1630 N 以下
	支持線部	7550 N 以下
許容曲げ半径	コード	50 mm 以上
	ケーブル固定時	140 mm 以上
	ケーブル延線時	280 mm 以上
使用環境温度 (*2)	- 20℃ ~ + 70℃	
許容側圧	1000 N/ 50 mm の荷重を印加、開放後に残留ロス無きこと	

7. 標識

コード外被の適切な位置に下記の標識を連続表示する。

「 FIBER OPTIC CABLE G185-250-2 」

ケーブル外被の適切な位置に下記の標識を連続表示する。

「 FIBER OPTIC CABLE G185-250-22 」

1m毎にレングスマークを連続表示する。

8. 梱包形態

運搬、保管に耐えるような適切な荷造りをする。

9. 特定有害物質の使用制限

本製品は、RoHS指令(6物質)に対応しております。

RoHS2指令に伴う追加4物質(フタル酸エステル類)については管理対象外となります。